

—企業寄付実施のご報告—

「認定NPO法人ファミリーハウス」に 寄付をお届けしました。

旧サークルKサンクスは、2002年より企業寄付等により「認定NPO法人ファミリーハウス」の活動支援を行ってきましたが、2016年9月の経営統合を経て、今回ファミリーマートとして初めてとなる寄付を実施しました。寄付を実施した「認定NPO法人ファミリーハウス」は、小児がんなど難病と戦うこどもたちとその家族のために宿泊施設を提供し、経済的負担を軽減する活動を展開しています。これまでの支援では、企業寄付のほか、同団体に食品など物資の提供を行う支援を実施してきました。今回は運営資金の寄付として2月に500万円を寄付し、3月3日、ファミリーハウス事務所に江口八千代理事長に目録をお届けいたしました。



ファミリーハウス 理事長 江口 八千代様（左）に目録をお渡しする
元CSR・コンプライアンス部付部長 中村 幸恵（右）

■ 寄付金実績

2002年から累計 **75,000,000円**

認定NPO法人ファミリーハウスの活動内容

難病のこどもと家族のために、こどもの看護に専念できるような「もうひとつの我が家」を提供したいという考えのもと、ボランティアの力を結集して1991年に生まれたのが「ファミリーハウス」です。ファミリーハウスは、安価で、かつ安全・安心に滞在できる場所、そして悩みを話せる場所としての滞在施設（ハウス）を提供しています。ボランティアの方たちがハウスを掃除したり、こどもとご家族のためにコンサートを開催したりと、利用者の方々が心安らげるような活動をしています。

ハウスは利用料1,000円で運営され、現在の施設数は12施設58部屋。年間延べ11,599人が利用しています（※）。

※2015年度実績



ハウスの一例

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。